



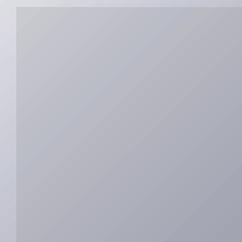
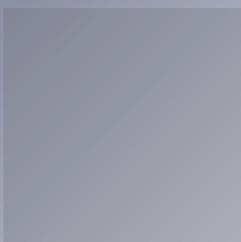
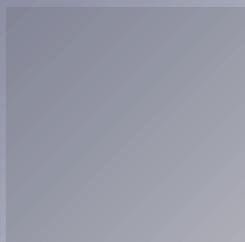
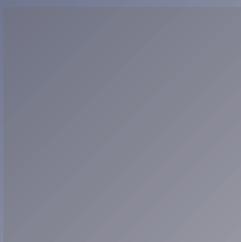
病害防除剤

農林水産省登録  
第18064号

# キンセツ®水和剤 80

## 細かい粒子で作物を細菌からしっかりガード!

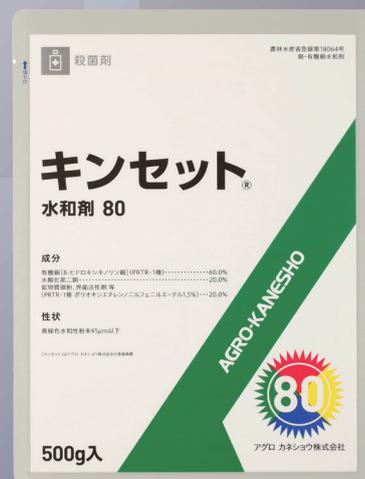
作物に安全性の高い有機銅とシャープな効果の水酸化第二銅を理想的なバランスで組み合わせた薬剤です。



- 細菌性病害等の防除の難しい病害に高い予防効果があります。
- 耐性菌を生じるリスクが低い薬剤です。



詳しい製品情報は  
ホームページから  
ご確認いただけます



アグロ カネショウ株式会社

「キンセツ」は、アグロ カネショウ株式の登録商標

# キンセツ® 水和剤80

農林水産省登録第18064号  
 成分：有機銅・・・・・・・・・・60.0%  
 水酸化第二銅・・・・・・・・・・20.0%  
 殺虫剤分類：M1  
 毒性：-(毒劇物に該当しない)

## ■適用作物と使用方法

令和8年3月18日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数	有機銅を含む農薬の総使用回数
みかん	かいよう病 そうか病	1000～1600倍	200～700ℓ /10a	収穫30日前まで	5回以内	散布	-	5回以内
かんきつ (みかんを除く)				3回以内	3回以内			
なし	輪紋病 黒星病	1000～1200倍		収穫21日前まで	9回以内			12回以内 (塗布は3回以内、 散布は9回以内)
おうとう	せん孔病	1000倍		収穫終了後～ 落葉期まで	3回以内			6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)
もも	せん孔細菌病 縮葉病			5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)			
ネクタリン	せん孔細菌病			5回以内				
麦類 (小麦を除く)	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100～200ℓ /10a	根雪前	2回以内	2回以内		
小麦	紅色雪腐病	乾燥種子 重量の0.5%	-	は種前	1回	種子粉衣 (乾粉衣)	5回以内 (種子への処理は 1回以内)	
	紅色雪腐病 条斑病	乾燥種子 重量の1%				種子粉衣 (湿粉衣)		
	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100～200ℓ /10a	根雪前	5回以内			
	眼紋病	400～800倍	60～150ℓ /10a	収穫60日前まで				
レタス	軟腐病	1000～1500倍	100～300ℓ /10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内	
ばれいしょ		1000～1400倍		収穫14日前まで				
たまねぎ				3回以内				3回以内
だいこん								収穫21日前まで
にんにく	春腐病	1000倍		収穫7日前まで	5回以内	5回以内		

### ▲使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- かんきつに使用する場合は、軽度の薬害(スターメラノーズ)を生じることもありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- ももに使用する場合は、以下の事項に注意してください。
  - ①せん孔細菌病防除に使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加してください。
  - ②縮葉病防除に使用する場合は、発芽直前及び開花直前かけむらのないように樹全体に十分散布してください(休眠期散布)。展葉後は薬害のおそれがあるので散布しないでください。
- おうとう及びネクタリンに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加してください。
- 炭酸カルシウム剤の所定量の添加は薬害軽減に有効ですが、かんきつ、なし等果実の収穫間際は果実に汚れを生じるので留意してください。
- なしの病害防除に使用する場合は、高温時に連続散布をすると葉や果実に薬害(ネクロシス、サビ果等)を生じるおそれがあるので注意してください。
- ばれいしょ、たまねぎ、だいこん、レタスの軟腐病に使用する場合は、発病後の散布では効果が劣るので発病前～発病初期から予防的に散布してください。
- レタス及びだいこんに使用する場合は、幼苗期や高温時の散布では薬害を生じやすいのでその時期の使用をさけてください。また、連続散布すると葉が黄化したり硬化したりすることがあるので過度の連用はさけてください。
- 麦類の雪腐病の防除に使用する場合は、なるべく根雪近くの晴天の日を選んで散布してください。
- 小麦の眼紋病の防除に使用する場合は、高温時や葉身が軟弱に生育している状態で散布すると葉身先端部に薬害が生じることがあるので留意してください。

●小麦の種子消毒に使用する場合は、以下の事項に注意してください。

- ①種子粉衣(乾粉衣)の場合は播種前に適当な容器の中で本剤の所定量が均一に乾燥種子につくように少量ずついいねいにまがしてください。
- ②種子粉衣(湿粉衣)の場合はあらかじめ種子をしめらせて種子乾粉衣と同様に処理してください。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

### ▲安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
  - 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時及び種子粉衣の際には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
  - 使用の際は農業用マスク、不透水性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 魚毒性等…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密閉し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した所。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。